

平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【日本語日本文学科】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性				
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2								
18UJPA1001	初期演習	1	「初期演習」の目的は、初年次学生が、学院の教育理念と歴史について学び、本学学生としての誇りと自覚を持ち、大学生にふさわしい主体性・論理性・実行力を培い、学部・学科の教育目標を達成するように導くことである。	1. 「立学の精神」、それに基づく「教育目標」、「教育推進宣言」、学院の歴史について理解する。 2. 主体的学び、実践する姿勢を身につけ、積極的に意見を発表・伝達するために、本を読み、自ら考え、文書に表現するなどの基礎的な能力を養う。 3. 学生相互や担任教員との豊かで円滑な人間関係の基礎を築く。 4. 女性として社会で活躍するための、キャリア形成の基礎を身につける。								○	◎	◎	
18UJPA1201	古文入門	1	古文の基礎的な知識と読解力を身に付ける。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	大学での学習・研究に必要な、古文の読解力の基礎を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
18UJPA1221	漢文入門	1	漢文の訓読法と基礎的な読解力を身に付ける。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	大学での学習・研究に必要な、漢文の読解力の基礎を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○					
18UJPA1401	日本語表現入門	1	聞く人に好感を持たれる明快な口頭表現の方法を身に付ける。	美しく明快な日本語を話すための技能を身に付け、具体的な状況で形に表すことができる。	○			◎							
18UJPA2401	日本語表現演習Ⅰ	2	レポート・卒業論文・就職試験等において必要となる文章作成能力を身に付ける。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	様々な状況に最もふさわしい文章を作成できる技術と能力を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○			◎							
18UJPA2402	日本語表現演習Ⅱ	2	Ⅰを踏まえてさらに、レポート・卒業論文・就職試験等において必要となる文章作成能力を身に付ける。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	様々な状況に最もふさわしい文章を作成できる技術と能力を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	○			◎							
18UJPA1411	情報リテラシーⅠ	1	大学教育に適応し、安全で適切な情報活用ができるための基礎的な情報リテラシーを身につける。コンピュータやネットワークの知識、情報モラルの知識と実践力を育成するとともにオフィスソフトの活用をもとにしたレポート作成の基礎的な技能を確実に習得する。	・本学のシステムやオンラインサービスを知り、使いこなすことができる。 ・基礎的なコンピュータやネットワークに関する知識、情報モラルに関する知識をもち、場面に応じて安全にコンピュータやネットワークを活用することができる。 ・レポートを作成するために必要なソフトの活用技能を習得し、課題に応じた簡単なレポート作成ができる。		○							◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18UJPA1412	情報リテラシー II	1	MS-Excelを発展的に取り扱うことにより、データ処理の知識と技能を習得する。「情報リテラシー I」では十分に行えなかった、MS-Excel/Wordを連携的に取り扱うことにより、専門教育課程の課題やレポート作成とビジネス現場で適用できるデータ処理の基本的技能を習得する。	専門教育で取り扱う各種データをMS-Excelで処理し、レポート作成や卒業論文に役立つレベルを目標とする。		○		◎					
18UJPA1421	Oral Communication	1	英語でコミュニケーションを図る際のフォーマットを確認し、実際に「使う」ことを経験しながら、コミュニケーション能力を養う。	英語の基礎的な語彙や文法の知識を活用しながら、インタラクティブな活動を通して、様々な状況での基本的な実用会話ができる。		○	◎	○					
18UJPA1101	日本語学概論 I	1	日本語学を学習・研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語学および関連領域の学習・研究に必要な学術的な態度を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA1102	日本語学概論 II	1	Iを踏まえてさらに、日本語学を学習・研究するのに必要な基礎的知識を習得し、日本語に対する様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語学および関連領域の学習・研究に必要な学術的な態度を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA2101	音声・音韻論	2	音声学と音韻論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の音声学・音韻論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA2102	語彙・意味論	2	語彙論と意味論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の語彙論・意味論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA3101	文法・文体論	3	文法論と文体論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の文法論・文体論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA3102	文字・表記論	3	文字・表記論の観点から、日本語の仕組みについての理解を深める。また本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の文字・表記論に関する一定の知識と研究方法の基礎を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
18UJPA4101	談話研究	4	談話研究の基礎となるテキストの言語学的な捉え方を学ぶとともに、日本語の談話分析に応用するための方法を習得する。	テキストの複数の分析方法を習得し、日本語の談話・文章の研究や教育に応用することができる。	○				◎				
18UJPA2103	日本語学文献講読Ⅰ	2	日本語学に関する比較的平易な文献を精読し、日本語学および関連領域の基礎的知識と研究方法を身に付ける。	日本語学および関連領域に関する基礎的な知識を身に付け、学習した研究方法によって個別の研究ができる。	◎				○				
18UJPA2104	日本語学文献講読Ⅱ	2	Ⅰを踏まえてさらに、日本語学に関する比較的平易な文献を精読し、日本語学および関連領域の基礎的知識と研究方法を身に付ける。	日本語学および関連領域に関する基礎的な知識を身に付け、学習した研究方法によって個別の研究ができる。	◎				○				
18UJPA3103	日本語史Ⅰ	3	日本語の歴史の変遷について、各時代の日本語資料に見える言語事実に基づいて考察し、日本語研究に必要な知識を身に付ける。なお、本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の変遷を時系列に沿って把握している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA3104	日本語史Ⅱ	3	Ⅰを踏まえてさらに、日本語の歴史の変遷について、各時代の日本語資料に見える言語事実に基づいて考察し、日本語研究に必要な知識を身に付ける。なお、本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本語の変遷を時系列に沿って把握している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA4102	日本語学特講Ⅰ	4	日本語研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本語を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身に付けている。	○				◎				
18UJPA4103	日本語学特講Ⅱ	4	Ⅰを踏まえてさらに、日本語研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本語を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身に付けている。	○				◎				
18UJPA1103	社会言語学	1	社会現象として捉えられた言語体系・言語運用の諸側面についての知見を得る。	社会生活における言語の仕組みと運用の仕方について一定の認識を獲得している。	◎				○				
18UJPA2105	言語学Ⅰ	2	言語学の基本的な考え方と様々な学説・理論を学び、言語の普遍的な特徴を知るとともに、日本語に関する理解を深める。	言語学に関する一定の知識や方法により、具体的な言語分析ができる。	◎				○				
18UJPA2106	言語学Ⅱ	2	Ⅰを踏まえてさらに、言語学の基本的な考え方と様々な学説・理論を学び、言語の普遍的な特徴を知るとともに、日本語に関する理解を深める。	言語学に関する一定の知識や方法により、具体的な言語分析ができる。	◎				○				
18UJPA1111	日本語教育学入門	1	日本語教育の本質・目的・現状・歴史に関する基礎的な知識を習得する。	日本語教育に関する基礎的な知識を獲得している。	◎				○				
18UJPA2111	日本語教授法	2	様々な母語や文化的背景を持つ学習者に対する日本語の教授法を学ぶ。	様々な日本語教授法を理解している。	○		◎						

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18UJPA2112	日本語教材研究Ⅰ	2	日本語教育で使用する様々な教材についての基礎的な知識や理解を深める。	基本的な市販教材の特徴を理解し活用することができる。	◎		○						
18UJPA3112	日本語教材研究Ⅱ	3	Ⅰを踏まえてさらに、日本語教育で使用する様々な教材についての実践的な知識や理解を深める。	学習者に応じた教材を選択するとともに、生教材を応用的に活用できる。	◎		○						
18UJPA3111	日本語教授法実習	3	実習を通して、外国語としての日本語を教える難しさと面白さや異文化理解の大切さに気づき、教育実践の基礎を身に付ける。	国内外での日本語教育実習に向けて、準備が整っている。	○		◎						
18UJPA3113	日本語教育史	3	第二言語教授法の歴史と日本語教育の変遷を時代的・社会的背景の中で理解する。	日本語教育の変遷を時系列に沿って把握している。	◎				○				
18UJPA4111	日本語教育特講	4	日本語教育研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本語教育を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身に付けている。	○				◎				
18UJPA1112	言語発達論	1	乳幼児から児童期にかけての第一言語の習得過程について、音声・語彙・文法・言語行動など領域ごとに理解し、言語習得の仕組みを把握する。	第一言語の習得過程の概要を理解し、言語習得の機構に関する基礎的な知識を身に付けている。	◎					○			
18UJPA3114	言語と心理	3	第二言語の学びの過程における学習者の心理的側面を、特に習得や学習方略などの観点から理解する。	第二言語学習における学びのプロセスを把握している。	◎					○			
18UJPA1113	異文化間コミュニケーション	1	異文化・異言語間で生じる多様な問題についての基礎的な知識を習得する。	異文化間コミュニケーションで生じる諸問題に対して一定の理解を獲得している。			◎				○		
18UJPA4112	多文化共生論	4	自己相対化の知的技法として、異文化を理解し、多様な文化との共生について考える。	異文化理解を鍵として、自らの文化を一層深く理解するための観点を獲得している。			◎				○		
18UJPA3115	日本語教育インターンシップ	3	日本語教育の現場の授業体験を通じて、授業準備や教室運営、評価方法等における教師の役割を理解する。	国内外での日本語教育実習に参加し、授業計画・教室運営をすることができる。			◎					○	○
18UJPA1202	日本古典文学概論	1	日本古典文学を学習・研究するのに必要な知識を習得し、日本文学研究の様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本古典文学について、大学での学習・研究に必要な視点を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○			
18UJPA1203	日本近代文学概論	1	日本近代文学を学習・研究するのに必要な知識を習得し、日本文学研究の様々な観点を学ぶ。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本近代文学について、大学での学習・研究に必要な視点を獲得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
18UJPA1204	日本古典文学史	1	上代から近世までを範囲として、主要な作品や作者を知るとともに、文学形態や作風や主題等の変遷を理解する。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本古典文学を時系列に沿って理解している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA1205	日本近代文学史	1	近現代を範囲として、主要な作品や作者を知るとともに、文学形態や作風や主題等の変遷を理解する。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	日本近代文学を時系列に沿って理解している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2201	上代文学講読Ⅰ	2	上代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2202	上代文学講読Ⅱ	2	Ⅰを踏まえてさらに、上代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2203	中古文学講読Ⅰ	2	中古文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2204	中古文学講読Ⅱ	2	Ⅰを踏まえてさらに、中古文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2205	中世文学講読Ⅰ	2	中世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2							
18UJPA2206	中世文学講読Ⅱ	2	Iを踏まえてさらに、中世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2207	近世文学講読Ⅰ	2	近世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2208	近世文学講読Ⅱ	2	Iを踏まえてさらに、近世文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2209	近代文学講読Ⅰ	2	近現代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA2211	近代文学講読Ⅱ	2	Iを踏まえてさらに、近現代文学の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解し、自分なりに解釈できる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎					○				
18UJPA3201	上代文学研究Ⅰ	3	上代文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○					◎				
18UJPA3202	上代文学研究Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、上代文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○					◎				
18UJPA3203	中古文学研究Ⅰ	3	中古文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○					◎				
18UJPA3204	中古文学研究Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、中古文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○					◎				
18UJPA3205	中世文学研究Ⅰ	3	中世文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○					◎				

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18UJPA3206	中世文学研究Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、中世文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
18UJPA3207	近世文学研究Ⅰ	3	近世文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
18UJPA3208	近世文学研究Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、近世文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
18UJPA3209	近代文学研究Ⅰ	3	近代文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
18UJPA3211	近代文学研究Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、近代文学の代表的な作品の講読を通じて、多様な研究上の視点と方法を学ぶ。	作品の表現と内容に即した研究ができる。	○				◎				
18UJPA1206	児童文学論	1	日本の児童文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	児童文学についての基礎的な知識と鑑賞力を身につけている。	◎				○				
18UJPA3212	現代文学論Ⅰ	3	日本の現代文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	現代文学についての基礎的な知識と鑑賞力を身に付けている。	○				◎				
18UJPA3213	現代文学論Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、日本の現代文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	現代文学についての基礎的な知識と鑑賞力を身に付けている。	○				◎				
18UJPA4201	日本文学特講Ⅰ	4	日本文学研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本文学を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身に付けている。	○				◎				
18UJPA4202	日本文学特講Ⅱ	4	Iを踏まえてさらに、日本文学研究の視野を一段と広げることを目的とし、専門性の高い分野やテーマに関して日本文学を考究する。	より深化した当該分野の知識や方法論を身に付けている。	○				◎				
18UJPA2221	漢文学講読Ⅰ	2	漢文学中の散文分野の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解できる。また、日本語や日本文学の学習に役立てることができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA2222	漢文学講読Ⅱ	2	Iを踏まえてさらに、漢文学中の韻文分野の代表的な作品の講読を通じて、学習者が自らその読解力を高める。また本科目は、中高教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	作品の表現と内容を十分に理解できる。また、日本語や日本文学の学習に役立てることができる。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。	◎				○				
18UJPA3221	東アジア思想文学Ⅰ	3	東アジアの思想と文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	東アジアの思想と文学についての基礎的な知識と理解力を身に付けている。		◎				○			

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2	
18UJPA3222	東アジア思想文学Ⅱ	3	Iを踏まえてさらに、東アジアの思想と文学を具体的に取り上げ、その特徴を理解する。	東アジアの思想と文学についての基礎的な知識と理解力を身に付けている。		◎					○		
18UJPA2231	国語教育実践研究Ⅰ	2	教育実践の場で有効な国語教育（学校文法・言語事項）に関する知識と技術を身に付ける。	国語科教育に直接役立つ知識と技能を習得し、教育現場での応用力を身に付けている。							◎	○	○
18UJPA3231	国語教育実践研究Ⅱ	3	教育実践の場で有効な国語教育（古文）に関する知識と技術を身に付ける。	国語科教育に直接役立つ知識と技能を習得し、教育現場での応用力を身に付けている。							◎	○	○
18UJPA3232	国語教育実践研究Ⅲ	3	教育実践の場で有効な国語教育（漢文）に関する知識と技術を身に付ける。	国語科教育に直接役立つ知識と技能を習得し、教育現場での応用力を身に付けている。							◎	○	○
18UJPA4231	国語教育実践研究Ⅳ	4	教育実践の場で有効な国語教育（現代文）に関する知識と技術を身に付ける。	国語科教育に直接役立つ知識と技能を習得し、教育現場での応用力を身に付けている。							◎	○	○
18UJPA1301	阪神間の文化	1	阪神間の文化についての知見を広め、身近な文化を理解する力を身に付ける。	地域に根付いた文化を観察し評価する基礎的な力を身に付けている。		◎					○	○	○
18UJPA2301	文化交流史	2	国際的な文化交流の歴史を学び、日本語・日本文学・日本文化の理解を深める。	日本語・日本文学・日本文化を国際的な視点から考察することができる。		◎					○		
18UJPA3301	日本の芸能	3	日本の多様な芸能について学び、知識を深める。	日本の多様な芸能について一定の理解を得、鑑賞力を身に付けている。		◎					○		
18UJPA3302	日本の伝統文化	3	日本の多様な伝統文化について学び、現代の生活様式への影響等を考える。	日本の多様な伝統文化について一定の理解を得ている。		◎					○		
18UJPA4301	日本の現代文化	4	現代日本の文化について様々な視点から学び、文化の多面性について理解する。	現代日本の多様な文化について一定の理解を得ている。		◎					○		
18UJPA4302	知的財産論	4	日本文学・日本文化を文化財として捉えた場合に関係する諸法令を学び、知的財産法制度についての基礎的な知識を習得する。さらに、デジタル情報技術と知的財産法に関わる法的問題とその解決策についても学習する。	日本文学・日本文化の持つ貴重な財産について、知的財産法制度に基づいた基礎的な知識を身に付けている。		◎					○		
18UJPA1311	書道Ⅰ	1	書の古典における書体美を理解し、これを自ら表現できるようにする。また本科目は、中学校教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	書体美に対する一定の認識を得て、これを表現できる技能を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○					◎		
18UJPA1312	書道Ⅱ	1	Iを踏まえてさらに、書の古典における書体美を理解し、これを自ら表現できるようにする。また本科目は、中学校教科国語、高校教科書道を教授するに足る基礎的な知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	書体美に対する一定の認識を得て、これを表現できる技能を身に付けている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の中高教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○					◎		

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性					
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2				
18UJPA2311	書道	III	2	書道史上の古典を理論的に考察し、臨書と鑑賞を行う。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	一層幅広く高度な表現方法を理解し、そのための技術を習得している。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○		◎							
18UJPA2312	書道	IV	2	芸術としての書道の作品を創作する能力を身に付ける。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	多様な書体・書風の古典の臨書を通して書の技法を練磨し、感性を開発し、創造力を高めている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		○		◎							
18UJPA3311	書道史	I	3	中国と日本の書道の歴史を概観し、書道についての認識を深める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	中国と日本の書道の歴史について一定の理解を得ている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		◎		○							
18UJPA3312	書道史	II	3	Iを踏まえてさらに、中国と日本の書道の歴史を概観し、書道についての認識を深める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	中国と日本の書道の歴史について一定の理解を得ている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		◎		○							
18UJPA4311	書論・鑑賞学		4	様々な書論に触れることにより、書の鑑賞法についての理解を深める。また本科目は、高校教科書道を教授するに足る基礎的知識および技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。	書の鑑賞法に関する一定の理解を得ている。教職課程履修学生は、学修内容を当該の高校教科内容および教材に関連づけて主体的に探求する。		◎		○							
18UJPA1402	身体表現法		1	演劇・ダンスなどパフォーマンスの実践を通して、言葉だけに頼らないコミュニケーションの技術を身に付ける。	言葉だけでなく身体による表現力も発揮して、自分をアピールすることができる。			◎					○	○		
18UJPA2403	プレゼンテーション技法		2	フォーマルな場面で効果的な提案・説明・発表をするために必要な技能を身に付ける。	実践的なプレゼンテーションの技能を習得している。				◎				○	○		
18UJPA2404	情報デザイン		2	文字・音声・画像・映像等のデジタルデータを使った成果物を作るのに必要な基礎的スキルを身に付ける。デジタルデータを扱う際に必要な基礎知識も習得する。	デジタルデータに関する基礎知識を習得し、それら进行处理するのに必要なソフトウェアを使いこなすことができる。		○		◎							
18UJPA3401	文芸創作		3	詩・小説・脚本・エッセイ等、フィクション性の高い文章(文芸)を書くための基本を学ぶ。	実際に文芸作品を創作することができる。		○		◎							
18UJPA2411	コンピュータ概論		2	情報社会を生き抜くためのICTの活用やコンテンツの活用に関する基本的な知識と教養を身に付ける。	コンピュータやネットワークについてICTの活用やコンテンツの活用に関する基礎知識・教養を十分に習得している。		○		◎							

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号								
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目								
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性		
1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2						
18UJPA2412	言語データ処理	2	日本語・日本文学の文字データ(言語データ)を数量(統計)的に処理するための基礎的理論を学び、その技法を習得する。	言語データ処理の技法を習得し、文学作品の文体分析、日本語の談話分析等ができる。		○		◎					
18UJPA3413	情報検索法	3	情報の利用者の立場と、利用者支援のスペシャリストの立場の両面から、情報検索の理論と技法を学ぶ。情報検索に関する基礎的な資格(情報検索基礎能力試験等)の取得に有用な知識を身に付ける。	情報検索の基礎的資格取得に有用な知識を習得している。また、日本語・日本文学に関する卒論・レポート作成に活用できる情報検索の技能を身に付けている。		○		◎					
18UJPA3411	情報処理特論Ⅰ	3	情報処理に関する基礎的な資格(ITパスポート等)の取得に有用な知識を身に付ける。	情報処理の基礎的資格取得に有用な知識を習得している。また、日本語・日本文学に関する卒論・レポート作成に活用できる情報処理の技能を身に付けている。		○		◎					
18UJPA3412	情報処理特論Ⅱ	3	情報処理に関する応用的な資格(基本情報処理技術者試験等)の取得に有用な知識を身に付ける。	情報処理の応用的資格取得に有用な知識を習得している。また、初歩的なプログラミング技術等を身に付けている。		○		◎					
18UJPA4411	言語情報・文献管理特論Ⅰ	4	様々な有形・無形文化財からなる文化遺産への理解、これら文化情報資源の記述方法と視覚化、関係する用語研究、デジタルアーカイブ等知識資源の問題をテーマとして、基礎的な学習を行う。	文化遺産への理解、文化情報資源の記述方法と視覚化、用語研究、デジタルアーカイブ等の基礎的な知識と技能を身に付けている。		○		◎					
18UJPA4412	言語情報・文献管理特論Ⅱ	4	Ⅰを踏まえてさらに、様々な有形・無形文化財からなる文化遺産への理解、これら文化情報資源の記述方法と視覚化、関係する用語研究、デジタルアーカイブ等知識資源の問題をテーマとして、発展的な学習を行う。	文化遺産への理解、文化情報資源の記述方法と視覚化、用語研究、デジタルアーカイブ等の発展的な知識と技能を身に付けている。		○		◎					
18UJPA1422	中国語概説	1	日本語と深いかかわりのある中国語の音声・文字・語彙・文法・言語運用(平易な会話も含む)等についての基本的な知識を得るとともに、それを日本語学の学習に役立てる。	中国語に関する一定の知識を得て、日本語を中国語との対照において眺める視点を獲得している。		○		◎					
18UJPA1423	韓国語概説	1	日本語と深いかかわりのある韓国語の音声・文字・語彙・文法・言語運用(平易な会話も含む)等についての基本的な知識を得るとともに、それを日本語学の学習に役立てる。	韓国語に関する一定の知識を得て、日本語を韓国語との対照において眺める視点を獲得している。		○		◎					
18UJPA2421	英語で読む日本Ⅰ	2	日本の文化・文学に関する英語の文章を読み、英文読解力を養うとともに、国際的な視野から日本を捉え直す。	一定程度の英文の読解力を身に付け、日本の文化・文学を国際的・相対的に捉えることができる。		○		◎					
18UJPA2422	英語で読む日本Ⅱ	2	Ⅰを踏まえてさらに、日本の文化・文学に関する英語の文章を読み、英文読解力を養うとともに、国際的な視野から日本を捉え直す。	一定程度の英文の読解力を身に付け、日本の文化・文学を国際的・相対的に捉えることができる。		○		◎					
18UJPA1424	海外文化体験演習	1	海外体験を通して、日本語・日本文化に対する客観的な評価ができるような基礎的な力を身に付ける。	多文化共生を理解し、日本語・日本文化に対する客観的な評価の視点を身に付けている。		◎					○	○	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号									
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目									
					1. 知識・理解		2. 技能・表現		3. 思考・判断		4. 態度・志向性			
					1-1	1-2	2-1	2-2	3-1	3-2	4-1	4-2		
18UJPA3001	演習 I	3	演習担当教員の指導の下、各自の研究を深めるための方法論を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの研究の質を高め合う。	卒業論文（卒業制作）作成に向け、研究に必要な基本的な知識と技能を身に付けている。						○	◎	○	○	
18UJPA4001	演習 II	4	Iに引き続き、演習担当教員の指導の下、各自の研究を深めるための方法論を学ぶとともに、学生同士が発表・討論等を行い、互いの研究の質を高め合う。	卒業論文（卒業制作）作成に向け、研究に必要な発展的な知識と技能を身に付けている。						○	◎	○	○	
18UJPA4002	卒業論文（卒業制作）	4	これまでの学修により得られた知識や方法のすべてを投入して論文・研究・制作に取り組む。	卒業論文（卒業制作）を完成する。							○	◎	○	○